

子どもの貧困対策に子どもの声を！ 第2回あすのば全国集会



第二部 「あすのばからの報告」

<調査提言>

都道府県の子どもの貧困対策事業調査 2016

<中間支援>

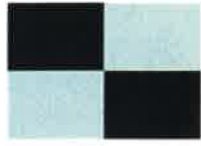
子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン

<直接支援>

「入学・新生活応援給付金」アンケート調査結果

2016年12月4日（日）

国立オリンピック記念青少年総合センター



TOYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京



都道府県の子どもの貧困対策事業調査2016 《結果の概要》

【調査手法】 全国47都道府県を対象に、アンケート調査票を郵送、震災復旧で不可能であった熊本県を除く46都道府県から回答を得た。各事業の詳細については、回答およびインターネット・電話による聞き取りによって回答を補完して作成した。

【調査時期】 2016年4月18日～6月30日

【結果の概要】

子どもの貧困に対する政策の多くは、基礎自治体が行っていることが多いものの、都道府県という広域自治体においても、さまざまな事業を創意工夫をしながら実施している。本調査から、「幼児教育関連」「スクールソーシャルワーカー(SSW)関連」などの教育支援から、「食生活・放課後支援関連」「ひとり親世帯への支援関連」などの生活・就労・経済的支援、また、「子どもの貧困の実態調査関連」などの実態調査・推進体制に関するものなどの事業が行われていることがわかった。

「スクールソーシャルワーカー雇用事業(小中学校・教育事務所等派遣)」「小中学生への学習支援事業」などは、殆どの都道府県が実施しているが、「子育て世帯への家賃補助などの住宅支援」や「子どもの貧困実態調査(2014～16年度)」などは、比較的に少数の自治体のみが行っている。

これらの都道府県の取り組みの中から、本プロジェクトでは、他の都道府県で実施しておらず、独自の取り組みとして特に注目に値する15の事業を「グッド・プラクティス」として取り上げた。これらの事業を始めとして、ここに挙げられた事業を参考とし、各都道府県が一層の子どもの貧困対策を講じることが期待される。

【対象となった事業分野】

1 教育支援

幼児教育、スクールソーシャルワーカー、学習支援、進学支援、高等学校

2 生活・就労・経済的支援

児童養護施設、食生活・放課後支援、ひとり親世帯への支援、その他

3 実態調査・推進体制

子どもの貧困の実態調査、子どもの貧困対策の推進体制

【問い合わせ先】

首都大学東京 子ども・若者貧困研究センター 担当:小田川 042-677-2123

Eメール poverty-rc@tmu.ac.jp

公益財団法人あすのぼ 担当:村尾 03-6277-8199 Eメール murao.m@usnova.org

日本大学文理学部 担当:末富 03-5317-9714(教育学科事務室)

都道府県の子どもの貧困対策事業調査2016

グッド・プラクティス事例

<教育支援>

- 神奈川県 高校へのソーシャルワーカー配置・活用ガイドライン
- 京都・大阪府 私立高校無償化・授業料負担軽減制度
- 東京都 受験生チャレンジ支援貸付事業
- 岩手県 いわたの学び希望基金
- 大阪府 高校内居場所(カフェ)による中退予防

<生活・就労・経済的支援>

- 滋賀県 「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業
- 京都府 母子世帯への所得制限なしの給付金
- 東京都 ひとり親世帯等への児童育成手当
- 新潟県 ひとり親への伴走型支援などの就労支援
- 埼玉県 子育て支援住宅・若年世帯向け子育て支援住宅供給事業
- 福岡県 子ども支援オフィス

<推進体制>

- 沖縄県 沖縄県子どもの貧困率調査
- 長野県 「子どもの声アンケート」
- 神奈川県 かながわ子どもの貧困対策会議・子ども部会
- 北海道 北海道子どもの貧困対策ネットワーク会議



Good Practice

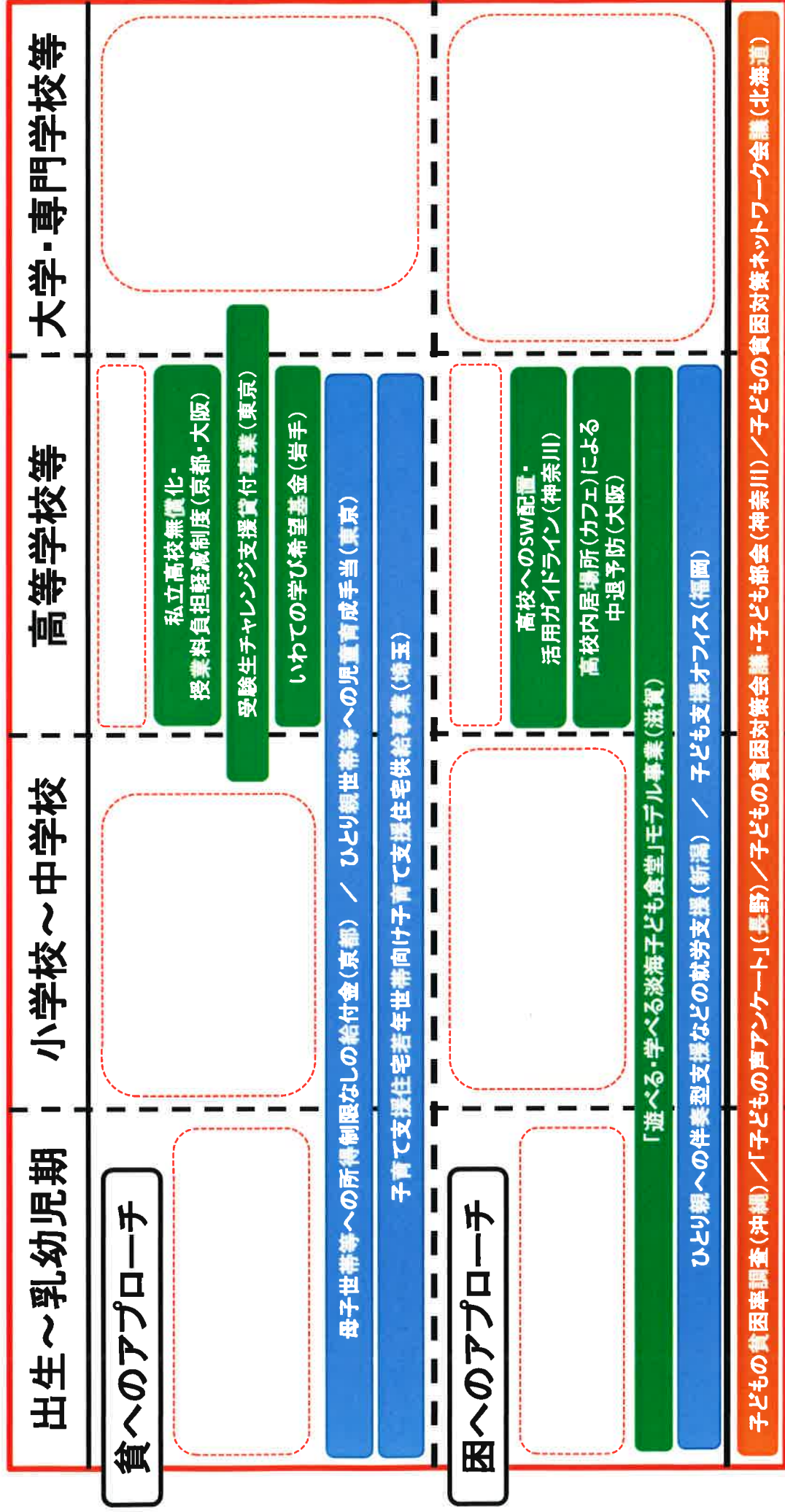
子どもの貧困対策「見える化」プロジェクト

首都大学東京 子ども・若者貧困研究センター

日本大学／公益財団法人あすのば

地域の子どもの貧困対策を進めるために

～子どもの貧困対策「見える化」プロジェクトの調査・研究を通して～



子どもへのアプローチ

家庭へのアプローチ

公益財団法人あすのば

【子どもの貧困対策「見える化」プロジェクトのあゆみ】

2014年8月、国の「子供の貧困対策に関する大綱」が閣議決定されたことを受けて都道府県の対策が本格的に動き始める

2015年9月、村尾政樹・あすのば事務局長が北海道の対策計画素案作成を受けて都道府県の計画策定状況調査に着手

2015年10月、末富芳・日本大学教授(教育行政学)が声をかけて「あすのば・日大共同研究」を始動

2015年12月、「子どもの貧困対策計画の策定状況に関する調査結果」を公表、更なる都道府県の対策推進と交付金創設など国の後押しを提言

2016年1月、首都大学東京子ども・若者貧困研究センターも連携し『子どもの貧困対策「見える化」プロジェクト』が発足

2016年4月、具体的な対策事業の推進状況に関するアンケート調査を都道府県へ発送

2016年7月、「政令市・中核市子どもの貧困対策計画策定状況」調査結果を公表

2016年8月、「都道府県の子どもの貧困対策事業調査2016」を公表

2016年9月以降、基礎自治体の具体的な対策事業の推進状況について調査(年度内に公表予定)

【これまでの報告書】

「子どもの貧困対策計画の策定状況に関する調査結果」

http://usnova.sakura.ne.jp/report_20151208.pdf

「政令市・中核市子どもの貧困対策計画策定状況」調査結果

http://usnova.sakura.ne.jp/report_cities160712.pdf

上記についてのお問合せ： 公益財団法人あすのば 担当：村尾 03-6277-8199

Eメール murao.m@usnova.org

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 沖縄 報告書



2016年7月23日、子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン(以下、全国キャラバン)が沖縄県からスタートしました。全国キャラバンは、さらに多くの人々が子どもの貧困対策への理解を深め、より充実した民間や自治体の支援体制を構築するきっかけと場づくりを通じたつながりをつくることで、全国各地の子どもの貧困対策の推進に寄与することを目的に開催する3ヶ年プロジェクトです。全国キャラバン in 沖縄は沖縄船員会館で開催され、第一部には約70人、第二部には約30人が集まりました。

第一部の全体会では、はじめに沖縄県知事より「各都道府県で開催する予定と聞いておりますが、先陣を切って沖縄県からスタートすることについて大変嬉しく思います」と来賓のご挨拶をいただきました(子ども生活福祉部長・金城弘昌氏 代読)。

続いて、沖縄県子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課子ども未来政策室室長・喜舎場健太氏、しんぐるまざあず・ふおーらむ沖縄代表・秋吉晴子氏、ももやま子ども食堂理事長・鈴木友一郎氏の3人からは『私が思う、子どもの貧困』をテーマにそれぞれの立場からご報告いただきました。

その後、パネルディスカッションでは『子どもの声を地域の大人で受け止める』をテーマに、県内高校生代表と社会的養護を経験した若者をはじめ、沖縄県子ども総合研究所所長・堀川愛氏、沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい代表理事・金城隆一氏、にじのはしファンド 代表・系数未希氏にご登壇いただきました。



コーディネーターも学生が務め、「不登校の子どもが学校へ行こうと一歩を踏み出したのに、髪の色や身なりで学校へ入れてもらえなかった。まずは“よく来たね”と声をかけて子どもの気持ちを理解してほしい」「子どもは“大人が喜ぶ”ように様子を見て振る舞っている。“楽しい？”と聞かれれば、楽しいとしか答えられない子どももいる。子どもにとって本当に必要としている支えは、何なのかよく考えなければいけない」など活発な議論が交わされました。



第二部の意見交換では、子どもを取り巻く環境や関わりのある人を整理する「沖縄県の子どもの貧困対策ステークホルダーマップづくり」を行い、自治体や支援者、学生など様々な立場の人が立場を超えて議論を行いました。

意見交換の時間では「自分が子どもの頃に身近なお店で助けてもらったことがあった。その経験から、子どものステークホルダーにはコンビニやカフェなども含まれており、何か一緒にできることを考えてみたい」「沖縄の人は戦争や基地など歴史的問題から声をあげても“否定”されてきた。子どもの声を受け止めて“肯定”するためには、子どもの貧困だけでなく、沖縄が抱える諸問題を同時に解決していかなければいけない」など多くの意見が交わされました。



参加者からは「子どもの教育の不平等を何とかしたい、何か私にできることはないかと思い参加しました。現状も何も知らない状態だったので、学ぶことばかりでした。また、何とかしたいという思いもより強くなりました(20代・女性)」、「様々な角度から子どもの貧困対策に携わる方の声が聴けました。この“もやもや”を持って帰って、自分にできることを更に考えたいと思います(30代・女性)」「生の声が聴けたのが良かった。子どもの気持ち、支援者の思い、見ている視点を聴けて良かった。子どもの学習面や給付金だけではなく、心のケアや成長の支援の大切さを学べた(20代・男性)」「うなずく話が多かった。特に社会的な成功者になってほしいという思いではなく、自分がどう愛された、大事にされたという思いを持ってもらえるのが大事(50代・男性)」「学校が生徒たちを受け入れる場であり、安心できる場であるよう私たち教師や教師を志す人も取り組む必要があると考えます。ぜひ声を現場に届けてほしいと思いました(30代・高校教員)」などの感想をいただきました。

【子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 沖縄】

日 時：2016年7月23日(土) 第一部 10時～12時30分 第二部 13時30分～16時45分
場 所：沖縄船員会館／主 催：公益財団法人あすのば／後 援：内閣府、沖縄県、那覇市
参加者：第一部 約70人 第二部 約30人 合計 延べ約100人が参加



「子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in ひょうご」



7月に第1回目を開催した沖縄に引き続き、9月3日（土）に先駆的な取り組みを実施している兵庫県明石市と共催し、「全国キャラバン in ひょうご」を明石市立産業交流センターで開催。240人もの方々にご参加いただきました。

午前中の第1部では、小河光治・代表理事のあいさつに続いて、入江武信・兵庫県健康福祉部子ども局長からごあいさついただきました。そして、明石市の取り組みについて、泉房穂市長から発表いただきました。明石市では、この9月から2人目以降の保育料などの完全無償化などすべての子どもへの支援の充実を図り、またひとり親世帯への相談事業などより支援を必要としている家庭への手厚い支援制度を実施しており、こうした「子ども総合支援」について説明いただきました。

その後のパネルディスカッションでは、「今、ひょうごで必要な子どもの貧困対策は」をテーマに議論しました。パネラーには、石田賀奈子・神戸学院大学講師、鎌田千佳子・尼崎市社会福祉協議会地域福祉課次長、田中遼太郎・にしのみや子ども食堂店長（関西学院大学3年）、茂木美知子・ウイメンズネット・こうべWACCAスタッフに登壇いただきました。コーディネーターは、村井琢哉・山科醍醐子どものひろば理事長（あすのば副代表理事）が務めました。日頃接している子どもたちの現状の報告や今後の支援のあり方などについて議論しました。



午後の第二部には、引き続き100人が参加。「10年後に向けての、子ども貧困対策のために必要なもの・こととは？」というテーマで計14グループに分かれて話し合いました。また、その前段階として「今、子どもの貧困対策のために必要なもの・こととは？」というテーマで話し合ってもらい、その話し合いの内容をKJ法で各グループ3つほどにまとめてもらいました。



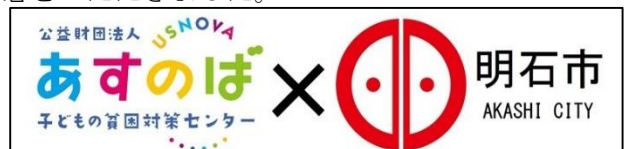
どのグループもそれぞれのグループの色があつてとても興味深かったです。その一方で、どのグループにも共通する意見も出ていました。そして、各グループ出た意見に「私も同じことを考えていた。全くその通りだ」という視点と「その発想は面白い。いいね！！」という2つの視点でお互いの意見を評価してもらいました。その中で、前者で一番人気を集めた意見は「困っている子どもがみえにくい。周りの大人が気づきの目を持つように」という意見で、後者で一番人気を集めた意見は「自己責任の偏見をぶっとばせ！！！」という意見でした。



参加者からは、「身近に食べられない子を見て来て実感があります。『居場所づくり』は重要で、年齢関係なく『居場所がある』と思えることが大切だと思います。私自身、DV、シングルマザー、3人育て、子供のいじめから登校拒否となり、話せる人もなく、また、淋しい思いをした子どもたちがすごせる居場所がその頃にあれば良かった。私自身知識もなく、淋しい思いをさせてしまったと感じています。今後何らかの形で協力したい。(50代女性)」、「これまで"貧困"というものを金銭面に重点を置いて捉えがちだ

ったことに気づきました。"子どもの貧困"の周知及びネットワーク構築により、まず考える脳ミソを増やすことが第一ではと感じます。(20代男性)」、「垣根をこえた情報交換と課題解決にむけての取り組み、子どもたちを1人の人間という認められた上での役割をよく考えていきたい。(50代男性)」、「子どもの貧困のそれぞれの団体のとりくみが聞けてよかったです。身のまわりに貧困の子どもの家庭があるのかどうか、地域のことが非常にわかりにくい。子どもの貧困への自分自身の認識が必要だと思いました。学習することができてよかったです。全国キャラバンは、大変だと思いますが、意義あることだと思いますので、今後も続けてほしいです。(60代女性)」などの感想をいただきました。

今回のイベントロゴは「あすのぼ×明石市」でしたが、協力団体やパネラーのみなさんはじめ、参加者のみなさん全員との「かけ算」になった催しでした。ご協力、ご後援、助成いただきましたみなさま、ご参加いただきましたみなさまに心からお礼申し上げます。



【子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in ひょうご】

日時：2016年9月3日(土) 第一部10時～12時 第二部13時～16時

場所：明石市立産業交流センター／主催：公益財団法人あすのぼ／共催：兵庫県明石市／協力：ひょうごコミュニティ財団、コープこうべ、兵庫県弁護士会、明石コミュニティ創造協会、ひょうご子どもカフェ／後援：内閣府、兵庫県、兵庫県社会福祉協議会／助成：公益財団法人キリン福祉財団

参加者：240人

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 高知 報告書



2016年10月15日（土）、子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 高知（以下、全国キャラバン in 高知）が高知県との共催で高知城ホールと高知共済会館にて開催されました。会場には、第一部に約90人、第二部に約50人が集まりました。

午前中の第一部では、村尾政樹・事務局長からの挨拶・趣旨説明に続いて、山本倫嗣・高知県地域福祉部児童家庭課課長、谷本恭子・高知聖園天使園施設長、青木美紀・高知あいあいネット・フードバンク高知代表の3人からそれぞれの取り組みと子どもの貧困に関してご報告をいただきました。



その後、小学生に教育支援を行う『からふるカンパニー』の高知大学の学生メンバー、子ども食堂開設の準備を進める『高知県立大学☆こどもみらい塾☆』の学生メンバー、中島由美・高知市社会福祉協議会共に生きる課課長、中島香織・こども支援ネットみんなのひろっぱ代表によるディスカッションが行われました。それぞれ出会ってきた子どもの様子について共有され、様々な子どもの困りごとがある中で、何かを基準に線引きせず、個々の困りごとに向き合い寄り添う支援の必要性を訴えました。ディスカッションのコーディネータは、工藤鞠子・あすのば学生理事が担当しました。



午後の第二部では、はじめに直島克樹・あすのばアドバイザー、川崎医療福祉大学講師より『岡山子どもの貧困対策ネットワーク会議』についてお話をいただき、直島氏は「何より大人同士の意見や考え方の対立で対策を止めることがあってはいけない。子どもの利益を最優先にした大人の姿勢が問われている」と強調しました。

その後、「高知県の子ども支援マップづくり」と称したグループワークを行い、子どもと関わりのある人や子どもを取り巻く環境がどれくらい県内にあるのか整理をしました。参加者からは「想像以上に資源があるのにも関わらず、皆で支えようとする横のつながりや子どもとのつながりが希薄になっていることが視覚化された」と感想をいただきました。

意見交換タイムの冒頭には尾崎正直・高知県知事も会場に駆けつけていただき、「高知県として更に取り組みを皆様と一緒に前へ進めていければ」と子どもの貧困対策に込める想いを共有していただきました。



意見交換の後、参加団体の子ども食堂こうち実行委員会、一般財団法人砂原児童基金、ごめんこどもクッキング、NPO法人GIFT（こうち居場所づくり実行委員会）からもリレートークが行

われ、学生主体に企画・運営した今回の機会を通して高知で子どもを支えるためのネットワーク化につながる可能性を感じながら全国キャラバン in 高知は閉会となりました。

参加者からは「支援者の方々の取り組みを聞くことが出来て有意義でしたし、とても参考になりました。（40代・女性）」、「何かしたいという気持ちを、また突き動かされました。自分の夢を必ず叶えます。（30代・女性）」、「地域の取り組みの中から課題を浮き彫りにして考える姿勢が素晴らしいと感じました。（50代・男性）」、「学生皆さんが貧困問題に関心を持ち、その課題に向き合っている意識に感心し有り難く思いました。支援をする側が気付かない、でも大事な視点をたくさん聞かせていただいたと思います。（40代・男性）」、「学生中心の取り組みと知り大変頼もしく素晴らしいと感じました。大人だけではできないこと、分からないこと、力不足なところが多くあると思います。地方の小さな声をまとめて政策提言をしていただきたいと思います。（50代・女性）」、「子どもの貧困は子どもだけのことでなく、社会全体の問題として考え、対応していく必要があると改めて感じました。（30代・女性）」、「いろんなつながりやネットワークを生かして新しい仕組みをつくっていきましょう（40代・男性）」などの感想をいただきました。

【子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 高知】

日 時：2016年10月15日（土）第一部10時～12時 第二部13時～16時

場 所：高知城ホール、高知共済会館／主 催：公益財団法人あすのば／共 催：高知県

後 援：内閣府、高知市、高知新聞社、RKC高知放送

参加者：第一部 約90人 第二部 約50人 合計 延べ約140人が参加

子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン in 長野 報告書



2016年11月12日(土)、子どもの貧困対策全国47都道府県キャラバン in 長野(以下、全国キャラバン in 長野)が長野県との共催で長野県教育会館ホールにて開催されました。会場には、第一部に約90人、第二部に約50人の方々がお越しくださいました。

午前中の第一部では、小河光治・代表理事のあいさつに続いて、共催代表として中島恵理・長野県副知事＝**写真**＝からごあいさついただきました。協力4団体である、信州子ども食堂ネットワーク、長野県NPOセンター、長野県みらい基金、フードバンク信州の代表のご紹介のあと、「今、長野で必要な子どもの貧困対策」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。パネラーには、轟寛逸・長野県県民文化部子ども・若者担当部長、宮下順・児童養護施設飯山学園園長、立花さくら・松本大学4年、西堀菜津美・長野大学3年にご登壇いただき、コーディネーターは吉田和花・あすのば子どもサポーター(津田塾大学3年)が務めました。行政、児童養護施設、また支援現場から見えることについて、それぞれの立場から発表していただいたあと、子どもたちの心の貧困と奨学金についてディスカッションを行い、必要な支援について考えました。



午後の第二部では、子どもの貧困に関する実話をもとにした映画の予告を観たあと、長野県で行われた子どもの声アンケートから経済面の声をまとめたものを発表し、長野県にも子どもの貧困が存在することを確認しました。そのあとに、「子どもの貧困事例における資源」をテーマとして、長野の子ども白書に取り上げられた記事を各班で読み、その事

例に出てくる子どもの周りにある資源について話し合い、模造紙にまとめました。まとめたものを全体で共有することで、自分の班では出てこなかった意見などを聞くことができ、視野を広げることができました。その後の意見交換会では、「どうして定年退職した教員は学習支援などを行わないのか」、「地方には大学生がいないため、どうしても祖父母世代が子どもたちの相談に乗るしかない」などの声が聞こえました。



参加者からは、「学生のみなさんの進行、企画がとても良かったです。子どもの貧困を大人の立場からではなく、当事者に近い立場から語っていただいたことで、議論に幅が出たと思います。様々な立場、様々な活動をしている方のお話がきけて、本当に勉強になりました。ありがとうございました。(50代女性)」、「私は生活困窮者事業にたずさわっています。今回のディスカッションでは取りあげていなかった問題も多くあり、また様々な問題が重複している世帯ばかりです。貧困問題を多くの方が考え、協働していけるといいと思います。(30代女性)」、「子どもの貧困はお金でなく、子どもの心の貧困の方が深刻な問題と思われる。(40代男性)」、「子どもの貧困が身近なところ、どこにもあることを多くの人に知ってもらうことが必要。そのために貴財団を含め民間団体の取組、行政の取組を連携させて啓発広報を進めていっていただきたいと思います。(50代男性)」などの感想をいただきました。

今回の全国キャラバン in 長野は、子どもの貧困問題に携わっている多くの学生や団体などの方々のご協力があり、開催されました。協力、後援、助成くださいましたみなさま、ご参加いただきましたみなさまに心からお礼申し上げます。

【子どもの貧困対策 全国 47 都道府県キャラバン in 長野】

日時：2016年11月12日(土)第一部 10時~12時 第二部 13時~16時

場所：長野県教育会館ホール/主催：公益財団法人あすのば/共催：長野県

協力：信州こども食堂ネットワーク・長野県NPOセンター・長野県みらい基金・フードバンク信州 (50音順)

後援：内閣府・長野県教育委員会・長野県経営者協会・長野県社会福祉協議会・長野県長寿社会開発センター・長野市・長野市教育委員会・ホットライン信州・連合長野・労協ながの

助成：公益財団法人キリン福祉財団

参加者：第一部 約90人 第二部 約50人 合計 約100人が参加

「入学・新生活応援給付金」アンケート調査結果

「入学・新生活応援給付金」とは…

入学・新生活を迎える生活保護世帯や住民税非課税世帯、児童養護施設や里親など社会的養護のもとで生活している子どもへ届ける3万円～5万円の返済不要・成績不問の給付金。みんなのことを想っている人が『ここにいるよ。』というメッセージとともに給付金を届けることが目的です。昨年度は2400人以上の人から温かいご寄付と想いをお預かりし、198人の子どもへ合計779万円をお届けさせていただきました。

「入学・新生活応援給付金」アンケート 結果の概要

入学・新生活応援給付金をお届けさせていただいた198人（子ども本人と保護者・施設長など）を対象に「給付金アンケート・ご感想記入用紙」を郵送、134人（回収率67.7%）から回答を得た。アンケート期間は、2016年10月28日～11月23日。

【アンケート回収状況】（2016年12月1日現在）

区分	郵送数	回収数	回収率
①小学校入学	29	22	75.9%
②中学校入学	39	28	71.8%
③中学校卒業	75	45	60.0%
④高校卒業等	55	39	70.9%
計	198	134	67.7%

1、「入学・新生活応援給付金」は、どのくらいお役に立てましたか？

項目	数	割合	198人中
すごく役に立った	116	86.6%	58.6%
役に立った	17	12.7%	8.6%
あまり役に立たなかった	0	0.0%	0.0%
役に立たなかった	0	0.0%	0.0%
未回答	1	0.7%	0.5%
合計	134	100.0%	67.7%

2、入学・新生活にとってお金以外の面でも意義のあるものでしたか？

項目	数	割合	198人中
お金以外の面も意義があったと感じる	117	87.3%	59.09%
お金以外の面で意義があったと感じない	9	6.7%	4.55%
未回答	8	6.0%	4.04%
合計	134	100.0%	67.68%

【2、回答理由】

新しい制服をとても喜んでくれました。

お手紙の内容を添わせて頂き、「1人1人へのサポート」が「お母さん」の強みを感じた。

毎日は入に助けて頂き、自分の目指すサッカー専攻の高校^専へ行けました。

着払いで下着まで揃えられました。

制服や体操服の購入にて気持ちが楽になった／自己負担が少し減り、気持ちが楽になったので／とても励まされました／いろんな応援をしてもらっている気がした／温かい気持ちを感じた。そういうひとにいつかになりたい／進学以外でもサポートをして頂けて感謝している／気持ちに余裕ができた／このような制度を初めて知り社会に対して心より感銘いたしました／部活を諦めずに済んで今は毎日が楽しいです／応援してくれる人がいることで前向きになれた／母の気持ち（負担）が楽になりました／子どもに新しいものを買ってあげられたので心の余裕ができた／バイトをしようと言っていたが、学生のうちしか部活はできないので私が勧めることが出来て目一杯好きな野球を楽しんでいます／心に余裕ができた／進学の準備を心配していましたが安心しました／すごくきつい状況なので沢山の方々に応援をして下さり励まされました／進学を諦めずに済みました／高校だけでなく大学に向けても何とかなるかもという希望が出来た／制服の新しいものが買えず、体に合わない兄かほかの人のもらい物で行かなければならなかったのが嬉しかった／自分の事を思ってくれる方達がいることに気付かされた／多くの人々の気持ちで給付金を頂けて嬉しかった／周囲の子達と同じような物品を揃えられた／みなさまの温かい「愛」を感じました／「お金」とゆーより気持ちがうれしかったし助かりました／“お祝い”ごとはご縁がなくなってしまったのでお祝いを寄せて支えてくださるお気持ちがことのほかうれしくありがたいです／給付金の事が頭の片隅にあり勉学に励めた／専門学校なので毎月テスト代がかかっていたのですごく助かっています／部活用品などを買ってあげられると気持ちの部分でとても助かりました／ひとり親が大変だと分かってくれる人がいると思うと気持ちが強くなります／高校に通えることが嬉しかった／彼女が胸張って、旅立っていく応援が出来た／お母さんが助かったと言っているのが嬉しかった／将来困った人を助けるような活動をしたい／何かに挑戦することへのきっかけとなった／机が買えて喜んでいた など

3、「入学・新生活応援給付金」はどのようにお使いになりましたか？

項目	数	割合	198人中
入学関係(学費・制服・学用品など)	100	75%	51%
新生活関係(生活費・引っ越し・生活用品など)	25	19%	13%
両方にチェック	8	6%	4%
未回答	1	1%	1%
合計	134	100%	68%

【3、具体的な項目】

入学式の洋服

バック、スパイクなど、ユニフォーム

卒業式のスーツを購入(就活用)

制服を買ったソックスを買った

制服／生活用品(家具等)／制服、体育着、上履きなどの購入の一部／部活動の用品(ユニフォーム等)／サッカーユニフォーム／教科書などの書籍類、学用品／大学の学食でのミールカード／アパートの契約／台所用品／ランドセル、体操服、筆記用具／野球部に入って部活に必要なシューズ、アンダーウェアなど／下宿先への身の回りの物／入寮時に布団一式、机、引き出しなど／スーツ／教育免許の研修費／家賃／自転車／検定／入学金の一部／タブレット・学用品一部／引っ越し(下宿)に伴う生活用品の購入、冷蔵庫、洗濯機など／国試に向けての積立て金、教科書、電子辞書／実習服(上下2枚エプロン)、シューズ、血圧計、聴診器／体操服、学用品(けんぱんハーモニカ)／ピアノカ／部活(野球)のウェア、シューズなど／通学交通費／IHコンロ、電子レンジ、室内物干しスタンド／陸上用のスパイクシューズ／学用品(ふでばこ、うわばき、バック等)、衣類 など

4、入学新生活のためにどのくらいお金がかかりましたか？(単位：万円)

①小学校入学	入学	新生活	合計	③中学校卒業	入学	新生活	合計
平均値	7	3	10	平均値	23	5	28
中央値	7	2	9	中央値	19	3	22
最頻値	5	2	7	最頻値	10	3	13
②中学校入学	入学	新生活	合計	④高校卒業等	入学	新生活	合計
平均値	10	5	15	平均値	69	25	95
中央値	10	3	13	中央値	75	25	100
最頻値	10	1	11	最頻値	100	30	130

5、給付金のご感想やご意見、入学・新生活などで困ったことなどを自由にご記入ください。

① 小学校入学

給付金をいただきありがとうございます。
 「10ヶ月の1年生」という言葉通りの新しいランドセル(本人希望のもの)を買って出ました。
 とても大切に使っています。
 2ヶ月分のほとんどは物の買い揃えの予算が、ゆいっ自分の物として購入してきたのが、とても喜ばれたようです。

(長野県・7歳 保護者記入)

都道府県	子どもの年齢	5 給付金のご感想やご意見、入学・新生活などで困ったことなどを自由にご記入ください。
東京	6	教育に関して、お金のかからないようにしてほしい。給食だけではなく、文房具等。上ぐつもサイズアウトしやすい。習いごとをしている子との経済格差がある。平等にできる支援がほしい。
愛知	6	小学校は義務教育ですが、全て無料ではないので、何かとお金のかかる事が多いと感じています。義務教育＝タダではないのは小学校に入学してから気づきました。教科書がタダなだけ。
栃木	6	出費を抑えようとしてしまうので、安いものにすればすぐ壊れるなど、それなりにまたかさばってしまう事が多くありましたが、給付金のおかげで高価ではなくとも、それなりのものが購入できました。日々、生活はできて、初期費用がどうしても準備できない事がありましたので、助かりました。困ってる方はたくさんいると思いますので、ぜひ長く続けてもらいたい制度であります。
東京	6	皆様のご協力、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。おかげ様で、子供は元気に学校に通っています。生活面で、一人親なので働かなくてはならず、子供との時間が、少なくなってしまうのが悩みです。現在は、フルタイムではないのですが、それでも、今後の学費等、考えると、色々不安になります。働き方も、難しいです。
高知	6	入学の時には、すぐたすかりました。
福島	6	あすのばの事は、会社の方が教えてくれました。それで、まだ準備ができていない物ばかりで、とても不安でしたので神にすがるともりで書類を、締め切りぎりぎりでしたが、送らせて頂きました。給付金をもらった時は、「子供に、はずかしい思いをさせずにすんだ。」と、本当に、感謝致しました。来年は、長男が中学校入学する為、ぜひまたお世話になりたいです。よろしくお祈いします。
神奈川	6	入学時は出費が多いので、給付金はとてもありがたかったです。まだ勉強机など買えていませんが、少しでも励みになりました。今後ともぜひ続けていって下さい。
兵庫	6	施設入所の本児童にとってこのような支援は本当に有難い物だと強く感じています。今後多くさんの子どもたちに向けた支援を継続してほしいと願っております。この度は本当にありがとうございました。
高知	7	私(母)も学校に通っており、母子家庭なので金銭的にとても助かりました。本人(子ども)も自然にあふれた小学校に通い、毎日楽しそうにすごしています。ありがとうございました。私の学校生活は続いており、再来年に卒業予定です。卒業後は看護師として働くので生活も安定していけるように思います。
東京	7	小学校にあがると度々集金、足りないものなどがでてきて、やはり、なかなか苦勞します。(文具用品、教科書代etc. 消耗品も少しずつの金額でも)給付金においては本当に助かりました。シングルマザー、頑張っても頑張っても金銭面では常にきつい状況ですし、自分の体の弱さもあり、でも休めないなど、落ち込むことも度々…。こちら「あすのば」というものがあると初めて知り本当に勇気付けられました。ありがとうございました。大変感謝しております。
福井	7	今回いただきました給付金はとても助かり感謝しております。これからも全国の私達のような子供達、親子様たちがあすのば様の力によって助けられる事を願っております。

兵庫	7	給付ありがとうございました。
徳島	7	今回、知人が新聞記事を教えてくれ、だめで元々と思ひ応募しました。決定の通知を頂いた時には本当に嬉しかったです。ただ、実際に入学の時に係る費用は多額であり、結局新しい制服を買ってあげることはできませんでした。3才年上に兄がいるのですが、その子が入学する時に知人からお古の制服をもらいました。その制服を今は着用しています。子ども2人とも、家庭の事情をある程度理解しており、文句を言うことはありません。それでも、たまに制服のズボンの丈が短いと友達からからかわれたと話すことがあり、胸を痛めました。私は就学援助を受けているのですが、申請は毎年する必要があります。その為、毎年認定が下りる6月～7月までは全額納付しないといけません。年度初めは毎年金銭面が苦しいです。あれば助かると思うのは、児童クラブの利用料の免除です。役員をしていた時に運営が厳しいことは聞いていたので難しいとは思いますが、制度ができればありがたいです。
静岡	7	入学と同時に新しい所に引っ越しもしたので給付金を頂けた事は信じられない位有難かったです。今も2年程続く離婚調停を行っていますが婚姻費用も満額頂くこともできず苦しい日々です。おはずかしいのですが、自分自身が最近体調を崩し、仕事も休みがちなので、生活面と同時に精神的にも厳しい日々で悩む事が多いです。3人の子供を育てていく事がちゃんと出来ていないのではと考え込んでしまう事も多いです。
広島	7	子ども達に塾代が安く勉強を教えて下さる制度をもうけてほしいです。
福島	7	今回は給付金対象になり大変助かりました。体操着も半そで半ズボン、長そで長ズボンの4着となりますと1万円は超えてしまうので、他の学用品等々考えますと、ばかにならない金額であると思っておりました。シングルマザーで昼間会社に勤め一日7.5時間、時給730円ではたらいしておりますが、なかなか思うような給料ではなく、苦しいのが現実と言ったところです。家計が大変な時は夜も知り合いのスナックを手伝っております。それは今、現在の生活をしていくためとゆうこともあります。将来子供たちが何かやりたい事や目標が出来たとき、その目標としたものになるために、大学や専門学校への進学をさせてやりたいと強く思うからであります。10代のエネルギー、やる気とゆうのは人生において一番強く、また、本当にその願いをかなえてしまう様々なパワーを秘めております。私はシングルマザーであっても子供たちの目標だけは、こわすような母親にはなりたくありません。私自身家庭がゆうふくではなかったので進学したくてもさせてもらえず”人生などどうにでもなってしまう”と10代、20代前半のキチウな時間を大切に生きることが出来なかった”子ども”でした。自分の娘と息子には、そうなってほしくありません。また、この先、私が死んだら2人はどうになってしまうのかととても不安であります。安心してまかせられる様な親類もおりませんし、そういった子どもたちを支援していく制度がこの世の中にはあるのでしょうか？正直、兄だいは血縁関係があるだけで、さほど私たちには関心がない様ですし、親せきといっても、いざとなれば人の子供などめんどろがるような、うわつらの人間ばかりだと思います。私が子供の頃のように近所の人たちと関わるきかいもだいぶなくなった世の中です。そんなさめた世の中にぼつりと残されてしまったら子供たちはどうになってしまうのでしょうか。こゆう不安をかかえながら生きている家族は私たちだけでは、きつくないはずで。また、今回給付金対象にえらんでもらった息子は軽度ではありますが、発達障害と知的障害であります。そういった子どもを持つ親同士のかかわりをより深くできるような制度や機会があれば、子も親も孤立したような気持ちにはならないのではないかと思います。そして、色んな悲しい事件等ありますが、そういった事件を起こす人たちはどこかで孤独な気持ちをかかえて生きているのではないのでしょうか？息子もこのまま世の中の人たちに受け入れられず、本当の自分を知ってもらえないまま成長していつてしまったら、どうなるのか…と思うこともあります。

② 中学校入学

私は中学校に入学したら、バレエを続けるつもりでいて、新しい靴を買ってもらえると
思っていました。しかし、母に他の物^でのお金がかかるから、シューズは、小さくなるまで
がまんして!!と言われました。私はもう小さくなっているのに!と思いましたが、
うちは母子家庭でお金が大変なのは、わかっているのであきらめました。
でも、3月の末に、母が突然、買ってあげると言いました。言足を聞いたら、
この「あすのば」さんからの支援があって、(新しいシューズやバック、サポーター等、部活に
必要な物を買ってもらえました。
私はこの支援を一生忘れません。
今は、そのシューズをはいて、レギュラー目指してがんばっています。
本当にありがとうございます。

(岩手県・13歳 本人記入)

中学までは義務教育で教科書代はかからないけれど、
学校の制服(夏服・冬服)や体操着、水着等指定の物を、入学前
買うだけでも10万円近くかかります。
リコーダー、かばん

部活も周囲の子と同じ様にやらせてあげたいと思うと、部活用の
体操着(皆でオリジナルの同じ服を着用している)も要るし、大会に参加するための
費用がかかります。

貧困の再生産は避けたいので、せめて高校までは行かせたいとは思って
いますが、奨学金等がないと実際の進学は難しいでしょうから、この先不安です。

よって、今回あすのばさんの給付金があったので、入学時助かりました。
ありがとうございます。(提出が遅くなり恐れ入ります) 保護者より

(大阪府・12歳 保護者記入)

兵庫	12	あすのば給付金としてお祝い金をいただき本当に助かりました。中学校へ入学するにあたり、多額の費用がかかりました。娘は将来、大学進学、そして留学の夢があり、その第一歩として、県立大学付属の中学校を受験しました。今は生き生きして希望した学校で勉強やスポーツに励んでおります。まだまだ費用のかかる年代でありますので、奨学金を探しましたが、中学生が受け取れるものが少ないです。義務教育とはいえ、収入が少ない家庭では、大変厳しい状況ですので、支援を広げて頂けるととても有難いです。あすのば様には、本当に感謝致しております。本当に、本当に、ありがとうございます。
長野	12	私は母子なので、こーいった支援などはすごく助かります。市からの援助もありますが、やはりそれだけでは足りない時もあります。ふつうの人に比べれば母子は恵まれている面もありますが、やはりそれだけではおぎなえない事も…。なので、こーいった支援金等が半年に1回とかのペースであればすごく助かるのにな～と思います。高校からは義務教育じゃなくなるのでやはり母子にとっては大変です。
栃木	12	給付金は、親のいない、あるいは親がいても育てることができないお子さんをお預かりして一緒に生活している私達にとっては県からの委託金ではとても補えない状況でしたので、とても助かり、感謝しています。これからは中学、あるいは高校に入学する予定の子どもがおりますので、今後も継続して支援をお願いします。
福島	12	生活が困難だったので引っ越しました。市営住宅です。下の娘が来年の4月に小学校に入学します。もし給付金が受けられたら助かります。宜しくお願いします。
兵庫	12	この度は新一年生になるにあたり、給付金をご支援頂きまして誠にありがとうございます。小学生の頃から少年野球に打ち込んでいた本児は中学生になったら野球部に入ると決めていました。ユニフォームや練習着、スパイク、グローブ、バットと、たくさんの用具の購入が必要で、それに使わせて頂きました。直接お会いしたことがなくても、そのように本児らを応援して下さい方がいるんだということを伝えていきます。今すぐはピンとこない部分もあるようですが、大人に成長してからでも支援して頂いたことを理解し、また本児が次は誰かの役に立てるようになることを願って、今後の養育にあたりたいと思います。
東京	13	母子家庭にとって、とてもありがたい助けとなりました。とにかく入学時にかかるのであすのばさんを知って大変助けになりました。昔(上の子)はなかったのもっと生活が圧迫されました。国の手当だけではどうしてもおぎなえない金額なのでこの様な団体の力はとてもすばらしいと思いました。
東京	13	児童養護施設では入学などに用立てる金額など限りがある為、あすのばの給付金は大変有難いものでした。世の中には児童養護施設よりも金銭的に苦しいご家庭も多くあると思いますがそういった方々にこのような給付金の事が伝わり、文章を書いてお金をいただくというところまでなかなか行かない現状もあると思います。必要な人に必要な支援がいきわたる世の中になってほしいです。(担当職員記入)
東京	13	助かった。もうちょっとあれば良かった(5万円ぐらい)
大阪	13	給付金を頂いた年に、家庭の事情により退所となりました。ご支援下さった皆様に心より感謝申し上げます。退所先となった家族(家庭)も様々な事由により、生活保護を受給する世帯等もあり経済的困窮に日々直面しているケースも少なくありません。給付金が新たな生活の中で家族(本人も含めて)全体を支える一助となる場合もあります。今後とも、多岐にわたるご支援の継続を希望致します。有難うございました。
福井	13	今回の給付金を兄弟2人分いただきとても助かり感謝いたします。これからも色々な活動がんばってください。
福島	13	給付金があることで本当に助かりました。心の負担が減ることができました。お金の事は心配掛けたくないで、親などにも言うことに抵抗があります。給付金と言うあたかなご支援を下されたことにも感謝しております。学習の方での支援制度があればいつも思います。兄の時も母子家庭応援と言うサービスがあり入学金(家庭教師)一万円引きがありましたが、やはり毎月の支払いが大変でした。家庭教師費用分はバイトをして支払っていました。(子供を置いてバイトすることに心が痛みました。)何かそういった学習支援制度のようなものがあればと思います。
東京	13	「給付金」というお金を与えるのは、とても良い事だと感じています。だから「給付金」といった活動は続けて行ってほしいと思っています。また「給付金」とは違った制度をつくって頂けたら、うれしいです。
福岡	13	入学の準備は現金でしかできないことばかりですので、給付金により助けて頂くのはとても有意義でした。我が家は少し多めに費用がかかるので行政に融資の相談もずいぶんさせて頂いたのですが、該当するものがほぼありませんでした。無利子での融資なども利用しやすければ子供達が色々な可能性をあきらめずに済むのではないかと感じました。もとより日本は教育に個人負担が多すぎることを是正していかなければ根本の解決にはならないのではないかと思います。

山梨	13	その際は大変お世話になり、本当にありがとうございました。無事、中学校生活のスタートを切ることができ、今は毎日が楽しくて仕方ないようです。私の住んでいる地域は冬になると仕事が少なくなる地域でしたので一番お金のないときに入学準備をしなければならないという状況でした。”どうしよう”と頭をかかえていた矢先に給付金のお話や情報をいただいて、神様からの贈りものだと涙が出るくらいうれしかったのを覚えています。私たちシングルマザーも他の人、手当て、給付金などに頼ってばかりはいられないのですが、一人ではどうすることもできない現実があるのもまた現状なのです。この給付金も続けていただけたらきっと私と同じような思いで助かるシングルマザーがたくさんいることと思います。本当に感謝申し上げます。
沖縄	13	給付金の支援のおかげで入学式も無事終えることが出きましたが私のうつ病があっかし、生活保護を受ける事になりました。薬の調整をしてもらい少しずつ良くなって来てますが今は自宅療養をしています。子供達はおかげさまで元気に学校へ登校する事ができています。地震とかで家をうしなわれた方々へ支援の手が届いてくれたらと心から思います。お世話になり、ありがとうございました。
東京	13	サッカーが強くなりたいという本人の強い意志から、今回当施設で初めてのクラブチーム加入となりました。部活以外のならいごとになると都や国からの支援の枠がないため、児童手当を使っている状況です。今回の給付金を入会金の一部とさせていただきます。本人に伝えるととても嬉しそうでした。ありがとうございました。
長野	13	支援をうけるとずるいと思われるのが困る。
愛知	13	入学のための制服や用品を用意できるのが本当に困っていましたが、何とか揃えることができ、学校生活をちゃんと送れています。とても感謝しております。中学に上がり、やはり塾に通わせたい方がいいかと思いますが、月謝が高額のため迷っています。学習の支援などがあればいいと思います。
福島	13	部活動で部費や使う物などでたくさんお金がかかるけど、給付金のおかげで毎日楽しくさせています。

③ 中学校卒業

この度は給付金を頂き大変助かりました。ありがとうございました。
 お金の面を考えると、私立高校ではなく、都立高校に進学しました。やはり、お金は二次、本人の気持ちも一番に考え進学すべきだと思っております。最終的に、本人が決定したことではありますが、普段の生活の様子を見ていると、私立高校に進学していれば...と後悔はしていません。修学旅行費の積み立て金や、部活動の遠征費(わががごのみ)、合宿代、教科書代等、一度に出る金額が割に大きく、納入の際は大変です。

(東京都・16歳 保護者記入)

入学後、部活に入部しましたが、お二つかいい少なるとして8月になり退部。アルバイトを始めました。
 やりたこととかが、できずに終わらせてしまったことを親として、つらい気持ちになります。

(千葉県・16歳 保護者記入)

今回の給付金、大切に使いさせていただき、大感謝の気持ちでいっぱいです。毎日、元気よく高校生活を送っております。
 ああなほ様から届くお手紙を、読ませていただきます。目には見えないけれど、心は届いてます。心が暖まります。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
 日々、様々な行事があり、母親である私が「つらいし、つらいし...」と思っていることも不安に「おぼやかし」に感じますが、ああなほ様からのお手紙を、読んでいると、頑張らなくていいよ、と思えます。私達の事を思い下さる方が、沢山いることに安心します。本当にありがとうございます。

(北海道・16歳 保護者記入)

定期化がないこと
 <保護者から>
 中学の時、経済的に困り(元夫が兼体職した為)学生服を買ったことがなかった。Tシャツ、3年間着ていられた。母として制服も買ってもらったこと、息子に申し訳なく思っていた。
 高校入学し、役所の方からこちらのあなほの制服を教えて頂き、中学の時と同じように制服をこちらの給付金で買うことができた。本当に助かった。あなほが助かった。
 県立高校でも教科書や体操服、実習服、新入費などの出費が多いことは心配されていた。母子家庭は毎月生活費のやりくりが難しい。こういった、制度の充実や拡大に、心から期待したいと思っております。
 きっと息子も、大人になって、このあたりが理解できると思います。
 そして、次の世代に、つなげていってほしいです。

(神奈川県・15歳 本人、保護者記入)

未回答	15	中学校の保健室で気持ちを聞いてもらうことがあり励ましてもらっていた、その先生から教わりました。ニュース等では冷たい世の中のイメージ、貧しい人たちは見捨てられるものと思っていたけれど、若い未来ある子どもを見捨てない、頑張っているという思いを感じました。心から感謝しています。今、子どもは部活動に力をそそぐクラスメートとも心を許し合い充実した学校生活をおくり、前向きな気持ちを持っています。ありがとうございます。
熊本	15	給付金に関しては本当に助かりました。有難く使わせて頂きました。ありがとうございました。
東京	15	今回の給付金に対して、とてもありがたく思っています。今までこの様な制度を知らず今まで来ました。あすのばを知りとても感謝しています。今は助けてくれる人がいると思うだけで心が暖まります。今後も、あすのばがますます反映出来る様に私達も応援したいと思っています。ありがとうございました。
兵庫	15	本人は、まだ舎におります。高校生活、色々ありますが、前向きに取り組んでおります。温かいお気持ちに本当に感謝しております。
大阪	15	給付金のおかげで部活に必要な用品を購入することが出来ました。給付金がなければ好きな野球をあきらめてバイトをしてました。とても感謝しています。ありがとうございました。
東京	15	子供は受験をする時に経済状況を気にして塾にも行かずレベルを下げ1校しか受けませんでした。あすのばさん以外にも色々な支援の申し込みをしましたが、全てだめでした。母子家庭にしてしまった私のせいですが子供にはもっと選択肢を与えてあげられる様な制度がほしいです。入学後はバイトを始め少しでも負担をかけまいと頑張っているのが嬉しいですが、申し訳なく悲しいです。私はあすのばさんを知る事が出来ましたが、全く知らない方が沢山いると思います。大変ですがもっと認知される様そして支援もできる限り続けて頂きたいです。本当にありがとうございました。
富山	15	給付金の入金が月末ではなく10日頃だとありがたいです。月末までに学校の制服に出費があるので。短大生や専門学生の卒業時もあると、生活用品をそろえるのに良いかと思えます。
福井	15	このような制度があればすごくいいなと思います。うちはすごくたすかり大変感謝してます。
東京	15	給付金は大変ありがたかったです。幸い公立高校に入れましたが、私立だったら通わせられなかったかもしれません。ただ、「こういった支援がある」「他にも同じ思いをしている人がいる」と知れたことは今後考え込む必要はないな、と勇気を持ってました。通学用のカバンや弁当箱などを自分で購入させました。生活状況も理解でき、支援に対し感謝の気持ちも持てたとうれしく感じています。
宮城	15	部活動で遠征費や交通費が多くかかること。授業料や納付金についてはある程度覚悟していましたが、部活動の費用も多く、すべての活動に参加させるには無理があり、悩むところです。本当に給付金が必要な情報が届けられるように、良い方法があればいいなと思っています。民間の奨学金の情報なども自ら探さないとなかなか見つからず、もう少しオープンに情報を得られると助かります。
神奈川	16	家庭の事情では、とても私立の学校へ行かせてもらえると思っていませんでしたが、母の勧め、周りの皆さんの協力で行かせてもらった事、とても感謝しています。最後まであきらめずに頑張っていきます。給付金を頂き、ありがとうございます。
栃木	16	私達の生活は、母子家庭であり、私には21才の時から持病が3つもあり、入院をくりかえしながら子供のために、仕事をしています。私の持病は、見た目ではわからないため、他人からしては、普通の人だと思われています。そのため、子供達には迷惑をかけてしまっていますが、自分で言うのとはずかしいのですが、素直でとても優しい子供達に育ってくれています。買い物に行っても、少しでも安い物を選びカゴの中へ入れる姿を見ると申し訳なくなります。しかし、私達家族に、手をさしのべて下さる方がいると心強いです。本当にありがとうございました。
福島	16	正直、母子家庭の手当は少なすぎ、生活が苦しい状態です。母子家庭だから、働かなくてはなりませんが、所得が多くなると、手当が減額されてしまいます。そんな中、あすのばさんを知り、すぐる思いで申込みしました。子供の進学費用の足しに大変助かりました。大変な事も多々あるとは思いますが、これからも、私達の様な母子家庭、貧困家庭を勇気づけて頂きたいと思えます。
兵庫	16	ありがとうございました
沖縄	16	入学準備をどうするか悩んでいましたが、このような支援があることを知り助かり感謝してます。
沖縄	16	市内の高校に昨年度より新たに進学コースが開設され、入学を希望、合格することができた。が、合格が決まってから予想以上に納入金や他の経費がかかることが分かり、冷や汗モノでした。そんな時にこの給付金を使わせて頂けて、大変助かりました。高校を選ぶ際、もっと細かな費用項目が分かると安心して準備ができると思います。

愛知	16	公立の高校でも、入学金、教科書、制服と、お金がたくさんかかりました。給付金は、その一部に当てることができ、姉と同じ高校で制服も姉のものを使うつもりでしたが、サイズが違って、姉のが小さかったので、新しい制服が買ってもらえて、嬉しかったです。高校生活、とても楽しく過ごしています。他の家庭と比べるとガマンすることもあります。それでも、私は幸せな方だと思います。今でも充分幸せです。母の老後のお金を使っているようで、それが心配です。
香川	16	ありがとうございました。今も大変ですがとてもたすかりました。
愛知	16	中1の時に母が病にかかり、入院を繰り返しており、働くことができません。高校の授業料は収入がないため、国(県)からの奨学金で0円となっていますが、その他の費用を支払うのが大変です。現在は障害年金(年50万程)を受けていますが、来年は分かりません。それでも一時金としてでもこうして給付を受けられとても助かっており希望は毎月いくらかでも現金として給付頂けると嬉しいです。
東京	16	本人の中学(区立中)進学時には本当に苦しんだので、夢のような企画でした。本人の弟のときも、進学のために2週間親子ともども眠れなかったのです。生きてよかったと思うほどインパクトがありました。子どもたちも一年前に比べ、活発になったと思います。どうもありがとうございます。
東京	16	受け取った本人が寮生活をしているので、保護者が代筆させていただきます。この度は、給付金ありがとうございました。都立高校ではありますが、本人の希望した高校は専門的な勉強ができる環境で本人がとても入りたがっていた高校でしたが、寮生活があり金銭的に私立並にお金がかかる高校でした。母子家庭でありまだ下の子も居る中で、とても厳しい状況でした。受験前国の給付金制度などは社会福祉協議会の方から説明がありましたが、民間その他NPOなどの情報は教えてもらえず自分で探した時はすでに締めきりしている状況でした。そんな時娘が市で行っている無償学習支援に行った時先生からあすのばを教えて頂きだめかもしれないけどと思い申請致しました。給付が決まった時本当にほっとしました。給付が決まった後、お礼のメールと思いアクセスいたしましたがどうしてもエラーになりきちんとお礼が言えないまま申し訳ありませんでした。NPOや民間の給付金があるだけで本当に子供を進学させる事ができるという事を多くの人に伝えたいです。大学などいろいろな民間の給付金がありますが、高校生に給付する制度はとても少ないです。入学後も部活や合宿費等いろいろとお金はかかります。ひとりではがんばって働いてもどうしても苦しい状況はあるので給付金があるととても助かります。
福井	16	長女、次女とお金が必要で、眠れない日が続いてました。必要最低限でもいいと言ってくれる娘にそれさえも難しいと言えず本当にありがとうございました。娘は今、大学進学という目標のもと、毎日、頑張っています。
神奈川	16	給付金のおかげで制服を購入することが出来ました。一人親母子家庭の貧困家庭には給付金は「生きる」につながる大切なものです。親族や他からの援助は一切ないので本当にありがたいです。感謝しています。
未回答	16	給付金をいただき、ありがとうございました。購入した電子辞書で勉強がスムーズに進められるようになりました。
福島	16	友人からあすのばの入学・新生活応援給付金制度について教えてもらわなければ、こういった支援があることさえ、分かりませんでした。小・中・高校などにも、こういったお知らせ(プリント)を頂けるともっと早く知ることができ、進学への金銭的負担のストレス軽減になったかな?と思います。ですが、支援をうけられ、子供の希望や夢をあきらめさせずに進学、部活をさせて頂くことができたこと、とても感謝しております。ありがとうございました。
高知	16	すごく役に立ちました。感謝しています。ありがとうございました。
沖縄	16	大学進学に向けての通塾の免除、留学プログラム(全額負担してくれたらとても助かります)、いろんな人々と意見交換、交流会、部活で使うものを負担してくれたら、楽に部活に励める。
長野	16	網膜剥離を患い、3月に東京の病院で手術・入院という時期と重なり、入院費用だけでなく交通費、付添いのための宿泊、滞在費等、多額なお金が必要だった為、この給付金によって本当に助けられたと同時に精神的にも大変勇気づけられました。8月に2度目の手術・入院をしたものの、視力が著しく低下し(剥離は食い止められた)、今も学校や日常生活で介助しながら生きています。8月の入院で定職だった新聞配達の仕事から「クビ」を宣告され、単発の仕事を探しながらの毎日です。このような制度は、多くの幅広い方々を救う為にあることは承知していますが、一度給付を受けた人間は二度と給付を受けることは出来ないのか、虫の良い話で大変申し訳ありませんが、教えて頂ければ幸いです。
北海道	16	あすのばからの給付金で入学準備がスムーズにできたと思います。とてもありがたく思います。進学するためにもまだまだ金銭的に家計が大変ですががんばりたいと思います。

宮城	16	給付金をいただけて、本当にありがたかったです。お陰様で入学準備品を備える事ができました。一人親世帯で子供が多いと、塾や習い事にもあまり通わせてあげられない為、その様な支援や制度もできたら、ありがたいと感じています。ホームステイなどの援助などもあれば、低所得の一人親世帯でも行かせてあげられるのにな…と思います。
静岡	16	入学と同時に新しい所へ家族4名で引っ越しをしたため給付金のお話を頂いた時は信じられない位有難かったです。離婚調停も2年以上になり母子手当などもなく婚姻費用もちゃんと頂けていないので生活は現在かなり苦しくなってきました。自分も最近体調も崩しているのでも仕事も休みがちで精神的に落ち込むことが多くなってきました。長男も大学進学を希望していますが、奨学金は申込みましたが、受験代金や入学時に支払うお金の支度ができるか不安です。なんとか生活を立て直したいと頑張っておりますが、悩み多き日々です(子ども達との時間も少なく反省が多いです)
宮城	16	本当にありがとうございました。助かりました。

④ 高校卒業等

進学せずに仕事に就きました。か
 思っていた以上に 出費が
 給付金で 高校の卒業費、就活Tシャツに
 着用するスーツを買う事ができました。
 保証人を立てたり、市や都の支援金貸付
 制度の利用が出来たのは
 二人の子を育てあげて来た
 時、本当にありがたく給付金を
 使わせて頂きました。

(東京都・18歳 保護者記入)

・使用目的が限定されない給付金は少ないが、とても貴重です。
 ・新生活は、安価な学生寮を利用することになり、初月費用を抑えることができています。
 今後一人暮らしを考えているので、保証人がいなくても、契約がスムーズにできるのが
 とても助かっています。
 保証人のことは、携帯電話を契約する時にも未成年のため大変苦労しました。
 保証人の課題をクリアできる支援を願っています。

(東京都・19歳 自立支援コーディネーター記入)

子供が学がたい。資格を取りたいと思、でも環境が整、てかりません
 貧困の連鎖はど、て親く、てい、てか。
 未来ある子供は、て打、て等、てあ、て入、てい、てかです。
 子供は国の宝でもあり、てす。
 国の支援を期待、てい、て思、てい、てす。

(埼玉県・19歳 保護者記入)

高知	18	給付金ありがとうございました。県・市の支援は中学校卒業までで母子家庭の私の場合、高校・大学に進学するのは本当に大変です。奨学金で何とかするしかないのですが、将来の借金になるわけでも不安です。できれば返済しなくていい給付型の奨学金制度が増えると有り難いです。
埼玉	18	給付型のお金についてはまだ貯めていて、本当に必要な時に使おうと思っています。(全部ではありませんが少しだけです。)本当に助かりました。
東京	18	この度、給付金の対象に選んで頂きありがとうございました。今後とも給付金の継続的な支援をお願いいたします。さらに、給付金の拡充も期待しています。よろしくお願いします。
京都	18	みなさんの寄付してもらったお金を学校のために大切に使います。本当にありがとうございました。
千葉	18	国立大学の授業料を下げた欲しい。大学受験の費用を下げた欲しい。受験費用だけで進学をあきらめてしまいそう。お金がないと大学には行かれない国だと思う。
京都	18	給付金があるのは、とても助かりました。このおかげで大学に行くことができ、私にとっても嬉しい気持ちです。ただ、入学しても一人暮らしだと大学進学をあきらめていたと思います。なぜなら授業料を稼ぎながら自分の生活のみで稼がないといけないからです。それは当たり前ですが、自分のやりたいことやボランティアをすることなど、大学生になってからやりたいことができないのではないのでしょうか。だから、私は、制度として住居費の給付型奨学金ができてほしいです。住む所の場所さえあれば、私は満足ですし、バイトはやはりしなければならぬですが、それ以上に生活に余裕ができることだと私は考えます。この制度をぜひ作ってほしいと私は思います。
愛知	18	続けてくれることが一番うれしい。(後輩のためにも)
愛知	18	入学、新生活時にはお金がかかるので給付金を頂けて本当にありがたかったです。本当に困っている人にお金が援助してもらえる制度が早く充実する国になって欲しいです。
神奈川	18	専門学校(看護)なので入学した後も色々そろえるものが多く出費がかさみきびしいですが、給付金のおかげで無事入学でき感謝しております。子供の人数が多い為すべて新品という訳にはいきませんがみなさま同様手助けをうけながらがんばっています。この制度も市役所の方が教えてくれました。一緒に考え、合格をよここんでくれ、声をかけてくれて本当にうれしかったです。
山形	18	皆様のご支援のおかげで無事、入学準備品をそろえる事ができました。本当にありがとうございました。一人親が大学に進学させる事は本当に大変な事です。想像していた以上にお金がかかり、大変でした。娘は、4年生大学へ編入し、留学したいという夢があったのですが、現実を考えると、経済的にも厳しく、奨学金もこれ以上借りると将来的にも返済が厳しいという事で編入をあきらめ就職すると話しています。一人親世帯の子供たちがお金の事を気にせず、進学できる様な制度ができれば、本当にありがたい事だな...と思います。日本の将来を担う子供たちにもっと投資をする制度があったらな...と思います。
東京	19	大学に行かせるお金もなく、学資保険でも足りなかったの海外への短期語学へ行きました。その際大きな助けとなりました。感謝しています。
宮城	19	給付金は本当に助かりました。しかしながら、大学の入学には費用が大きくなり、奨学金を借りたり、アルバイトで学費を捻出しなければならず、経済的にはこれからも厳しい状況で心配です。給付奨学金の制度なども話題にはなっていますが、早急の実現できることを望んでおります。

広島	19	学力や資質に応じたキメの細かい対応をしていかないと、1人立ちですぐつぶれてしまう。正しい人間関係の持ち方を学ばせる事が必要
京都	19	本人は学生生活を頑張っております。給付金感謝しております。ありがとうございました。
千葉	19	給付金のおかげで進学を諦めずに済みました。今ではとても感謝しています。
東京	19	給付金を頂くことができスーツを購入する足しにできました。ありがとうございました。
千葉	19	毎日の自炊の献立を考えるのが大変なので、料理教室をやって欲しいです。
埼玉	19	困った事はありません。御法人の給付金がより多くの人に知られる事を心より願っております。
大阪	19	長女の部屋をかりる時、生活用品の不足分購入時、友達にレンタカーをかりてもらって引っ越しした時、新生活を送りだして、すぐに、調味料や食材購入、さまざまな場面でお金がとんでいく中、あすのばを知ったことは私達にとって、救いの一手でした。あきらめなかったことで、娘は今、大阪で独り頑張っています。
長野	19	この子は退所後3ヶ月に一時不停止、物損事故、財布紛失、車の修理などなど色々やらかしてくれました。罰金や弁償など余計に出費がかさみました。あすのば様からの給付金は本当に助かりました。
岡山	19	多くの方々への応援をいただき、学生生活を始める事ができ、無事に学業に励んでおります。ありがとうございます。
東京	19	こうした支援が1つでも多くあるとありがたいです。経済面での支援はこれで十分ということはないので本当に助かります。又、多くの人たちに生活面、経済面、精神面などなど支えられている事を感じてもらいたいと思います。そして、いずれは本人自身が周りの人や社会に還元できる存在となってほしいものです。
新潟	19	給付金によって夢を追うことができていることに幸せを感じています。入学当初は精神的不安が多い中、社会的支援を受けることができ、とても心強かったです。
栃木	19	給付金に助けられたのが、一番うれしかったです
愛知	19	私立大学の為、又、自宅外の為、すごく費用がかかりました。全体から見ると給付金がわずかのように思われましたが、助かりました。皆様のご好意に感謝致します。欲を言えば、毎年でもありがたいと感じる今日この頃です。もちろん奨学金も借りています。
神奈川	19	施設で暮らしている時、退寮後に絶対に一人暮らしがしたいという強い希望がありアルバイトで貯金をためて進学、一人暮らしを果しました。大学に通学をしながら一人での生活とアルバイトをしていくのは思った以上にハードでした。少しでも月々の生活費の補助があったならばこんなにアルバイトをしなくても大学生活に集中できるのにとすることもありました。給付型の奨学金が他にも増えてくれることを願っています。あすのばのご支援にはとても感謝をしています。ありがとうございました。
京都	19	一人暮らしをするときに、お金がたくさん必要でした。そんな中、給付金をいただき、嬉しかったです。ありがとうございました。
滋賀	19	一人暮らしをしながら大学へ進学することが希望だったが、いざ始めてみると、アルバイトを絶対しなければならないので慣れるまでは大変だった(今もあまり余裕はないが)。お金のやりくりが大変。
東京	19	通院を一人でするのが不安です。
京都	19	奨学金を借りて、学校に通っているので、卒業したら返還していかないといけないプレッシャーを感じています。給付金が増えれば嬉しかったなと思います。
東京	19	施設を卒園して社会人になる子どもたちにとって、このような給付金はとても助かります。支援の輪が様々な形で広がっていくことを期待しております。
東京	20	大変役に立ちました。ありがとうございました。